

【◎成果と向上策】保護者・教員・児童の実現度の数値の高い項目、ニーズ度の数値の低い項目（表面の◎のついた項目）の中から抽出し、分析しました。ただし、数値の低い項目でも、昨年度と比較して伸長率が高いものも分析しました。

【▲課題と改善策】保護者・教員のニーズ度の高い項目、実現度の低い項目（表面の▲のついた項目）の中から抽出し、分析しました。

(1) お子さんが楽しく学校に通っていること…設問 4

【現状と向上策】

児童一人一人が活躍する場を設定するとともに、お互いを認め合う指導を心がけています。自己肯定感やクラス内の存在感を高め、充実した学校生活を送れるようにしていました。今後も、一人一人の自己肯定感を高めるために、さまざまな活動の中において、スモールステップで認めていきます。

【ご家庭でも】

子どもたちが困っているときは、遠慮なく学校にお知らせください。帰宅時の声かけとともに、子どもの様子を観察し、朝の送り出しにも声かけをして頂きたいと思えます。



町たんけん 2年

(1) コミュニケーションする楽しさを大切に、外国語教育を充実させること…設問 14

【現状】

高学年では、週1回外国語活動を行うことになっており、ALTの先生と一緒に学習を進めています。低・中学年においては、学期に1回程度ALTの先生と一緒に学習を進めています。

【改善策】

低・中学年において、ALTの先生と一緒に学習を増やし、外国の文化に触れる機会を設けるとともに、それを通して自国の文化についても考えさせるようにします。

【ご家庭でも】

テレビのニュース等で外国の様子がよく紹介されたり、事件や事故の状況が伝えられたりしています。他国との文化や習慣の違いから起きる事件も多くありますので、わかる範囲で他国の様子をお子さんに話して頂ければと思います。

(2) 不登校やいじめ対策に、学校全体で組織的に取り組むこと…設問 2

【現状と向上策】

児童実現度や教職員の実現度、ニーズ度は高いのに、保護者のニーズ度は低くなっています。これは、学校における取り組みを上手に伝えることができていないためかと考えます。毎月の悩みアンケートの実施とそれへの対処だけでなく、会議を持ち、職員間で共通理解をしながら指導に当たっています。また、個別の対応策を協議したり、関係諸機関との連携を図ったりしています。今後も、早め早めの対応を心がけるとともに、保護者の皆さんへ情報発信していきます。

【ご家庭でも】

言動、友達関係、持ち物、服装等、お子さんの様子や変化をよく観察しててください。そして、何かあったら早めに学校に連絡をしていただき、情報の共有を図って対応していけるようにしてください。



なかよし集会

(2) 将来、社会人として自立していくための力を育てる教育を進めること…設問 23

【現状】

将来の夢や希望について各学級で話題にすることはありますが、それを意図した活動や授業は少なかったようです。

【改善策】

各教科・道徳・学活・総合的な学習の時間等を活用して、望ましい職業観・勤労観や自分の生き方について考えられるよう、意図的に指導する機会を増やしていきます。

【ご家庭でも】

家族団らん、手伝い、読書、勉強など、メディア以外で楽しむ時間「ハッピータイム」を増やしていきましょう。夢や希望を家庭で、学期に1回くらいは話し合ってもらえるとよいと思えます。

(3) 基礎的な知識や技能を身に付けられるような学習を充実させること…設問 8

【現状と向上策】

各教科の時間だけでなく、パワーアップタイムの取り組みや計画的に宿題に取り組ませることなどにより、基礎学力の向上を図っています。学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。習熟・定着につながる宿題に取り組ませるとともに、児童のつまずきに対応して、それを改善できるように、個別に支援する機会や時間を多くしていきます。

【ご家庭でも】

音読を聞いて頂いたり、宿題の点検を頂いたりしていますが、保護者のみなさんに見て頂き、お子さんに励ましの声かけをしていただくことが学力向上の近道でありますので、今後ご協力をよろしくお願いいたします。



パワーアップタイム 5年

(3) 基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する力を育てること…設問 21

【現状】

「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に健康管理について関心を持てるようにしていますが、小学生においてもメディアと向き合う時間が増えています。そのため、就寝時刻が遅くなったり、睡眠時間が足りていなかったりする児童もいるようです。

【改善策】

「いきいき勝山っ子カード」で、自分の生活を振り返る機会を設けていますが、定期的に振り返るようにしていければと思います。また、今年度学校保健委員会でメディア・体力について、保健委員が発表しましたが、ご家庭にもその内容が伝わるようにしていきたいと思えます。

【ご家庭でも】

メディアを使わずに過ごす「ハッピータイム」を増やしたり、「いきいき勝山っ子カード」での振り返りを機に、就寝や起床時刻等について考えたりしていただければと思います。

(4) 課題を把握し、自ら考える授業を充実させること…設問 10

【現状と向上策】

今年度も、この項目の実現度はまだまだ低かったですが、児童の数値で一昨年 5.3⇒昨年 5.2⇒今年 5.6 となり、昨年度と比べた伸長率が 7.7% と一番高かったです。課題提示→自己解決→集団解決→まとめという授業の流れを全職員で共通理解のもと実践してきたことの効果が少しずつ表れてきていると考えます。今後も、この授業スタイルを踏襲して実践していくとともに、友だちと交流しながら考えを深める授業を充実させていきます。

【ご家庭でも】

お子さんの話をゆっくりと聞いていただいたり、家庭学習で解いた問題について、その解法について尋ねたりして頂きたいと思えます。



授業風景 4年

(4) よりよい生き方を考えられるよう、道徳教育を進めること…設問 15

【現状】

各クラスで週1回、副読本等を活用しながら指導しています。しかし、道徳の価値項目が児童の身近なものとしてとらえづらかったり、児童の生活と結びつきにくかったりすることもあるため、よりよい生き方を考えられるような指導になっていないこともあります。

【改善策】

平成30年度から「特別の教科 道徳」となり、道徳の教科書を活用した指導が始まります。児童が多面的に考えることができる道徳への転換が図れるよう研修を進めていきます。

【ご家庭でも】

学年・学級通信等で道徳での学習内容についてお伝えしていきたいと思えますので、お子さんと一緒によりよい道徳観について話し合っていたらいいと思えます。

(5) あたたかな人間関係を築くための体験的な活動を充実させること…設問 17

【現状と向上策】

この項目は、今年度児童の実現度が一番高かった項目です。帰りの会で、友達のよい所を紹介する活動を通して、よい所を認め合う雰囲気を作ったり、クラスみんなで遊ぶ時間を計画し、実行したりして、よりよい関係作りに努めています。今後も、思いやりの心を育む異年齢集団や地域の人々との交流活動など、学年に合わせた体験活動を充実させていきます。

【ご家庭でも】

人とかかわりのもとは家族の温かなふれあいです。家族においても、今まで以上に互いの考えを理解し、認め合ったり、協力し合ったりしていけるとよいと思えます。



1年生と遊ぶ 6年

(5) 健康な生活のために、バランスよく食べるなど望ましい食習慣を身に付けること…設問 22

【現状】

児童の実現度は毎年低い数値になってしまっています。給食を残さず食べることや偏食をせず、バランスよく食べることを指導していますが、それを意図した活動や授業は少なかったようです。

【改善策】

各教科・道徳・学活の時間等を活用して、食生活に関心を持ったり、望ましい食習慣について気をつけたりできるように、意図的に指導する機会を増やしていきます。

【ご家庭でも】

家族そろって食卓を囲む日を増やしたり、一緒に料理に取り組んだりしていただき、食事を楽しんでとるとともに、児童が元気に過ごしていけるようご協力をお願いいたします。